

## 死亡災害は過去最少63人、死傷災害は4年連続の増加

### — 平成18年における神奈川県内の労働災害発生状況について — (平成18年1月～12月の確定値)

神奈川県労働局（局長 河合諒二）は、平成18年における神奈川県内の労働災害発生状況を以下のとおり取りまとめたので発表する。

#### 1. 死亡災害の発生状況

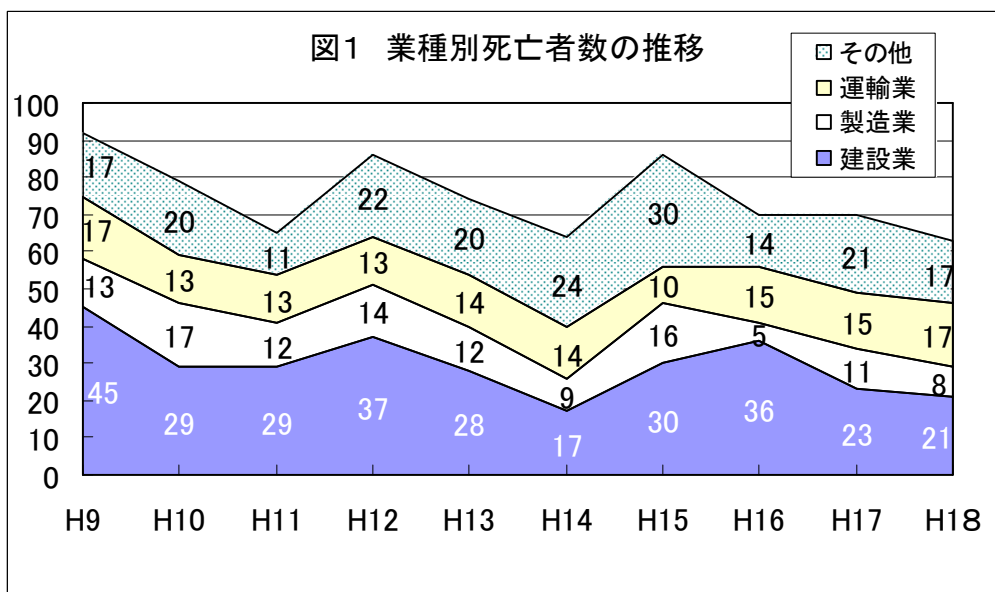
平成18年における労働災害による死亡者数は63人であり、平成17年（70人）と比較して7人、これまで最少であった平成14年（64人）と比較して1人減少した。

労働災害による死亡者数は、建設業が21人と最も多く、次いで陸上貨物運送事業10人、製造業8人であった。

業種別では、平成17年と比較すると建設業が2人減少、次いで陸上貨物運送事業が1人減少、製造業が3人減少となった。

また、商業で5人減少するなど、前年に比べ第三次産業(\*1)の死亡者が4人減少となった結果、労働災害による死亡者は過去最も少なかった。

事故の型別では、「墜落・転落」（17人）、「交通事故（道路）」（13人）の割合が高く、この二つの事故の型が死亡者全体の約半数を占めた。「交通事故（道路）」（13人）は前年と比較して5人減少しているとともに、過去最少の数字であり、死亡災害総数の減少の要因の一つとなっている。



## 2. 死傷災害の発生状況

平成18年における県内の労働災害による休業4日以上<sup>(※2)</sup>の死傷者数は7,338人であり、昨年の7,191人に比べ147人(2.0%)増加した。

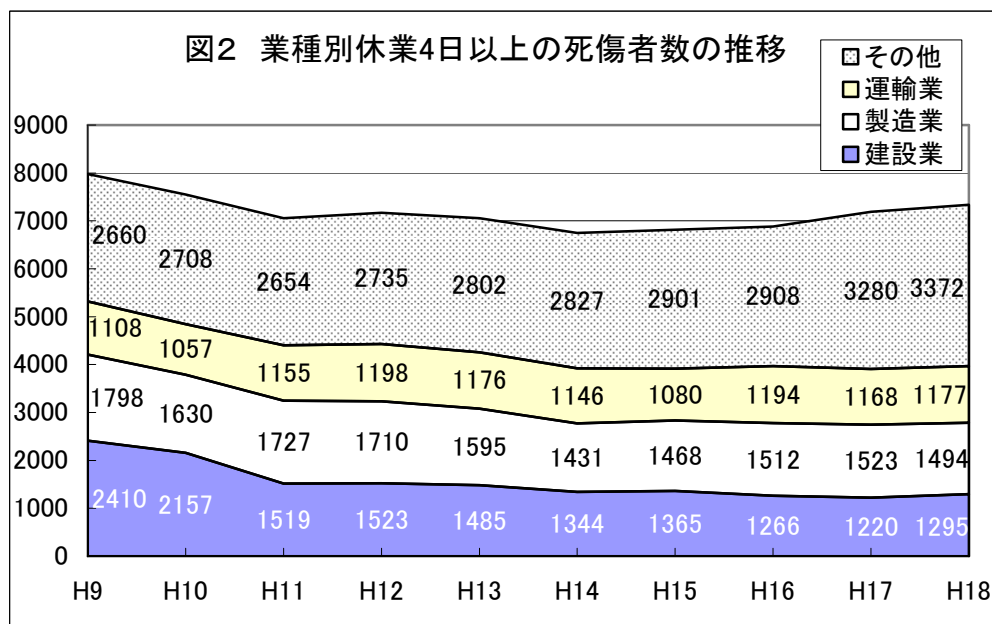
労働災害による死傷者数は、製造業が1,494人(20.4%)、建設業が1,295人(17.6%)、陸上貨物運送事業が812人(11.1%)、交通運輸業が304人(4.1%)、港湾荷役業が61人(0.8%)であり、商業の1,053人を含む第三次産業が3,312人と死傷者全体の45.1%を占めた。

業種別では、平成17年と比較すると、建設業が75人(6.1%)、交通運輸業が29人(10.5%)増加したが、製造業が29人(-1.9%)、陸上貨物運送事業が17人(-2.1%)及び港湾荷役業が3人(-4.7%)減少した。

また、商業が41人(-3.7%)減少したものの、清掃・と畜業、保健衛生業の死傷者が増えた結果、第三次産業が84人(2.6%)増加した。

近年、製造業、建設業、陸上貨物運送事業等の従来から労働災害の発生率の高い業種は、死傷者がほぼ横ばいで推移しているが、第三次産業を中心とするその他の業種は、平成11年度から7年間連続して増加している。

このため、県内の労働災害による死傷者が最も少なかった平成14年の死傷者数6,748人から死傷者数は4年連続して増加した。



### 3. 神奈川県労働局の取組

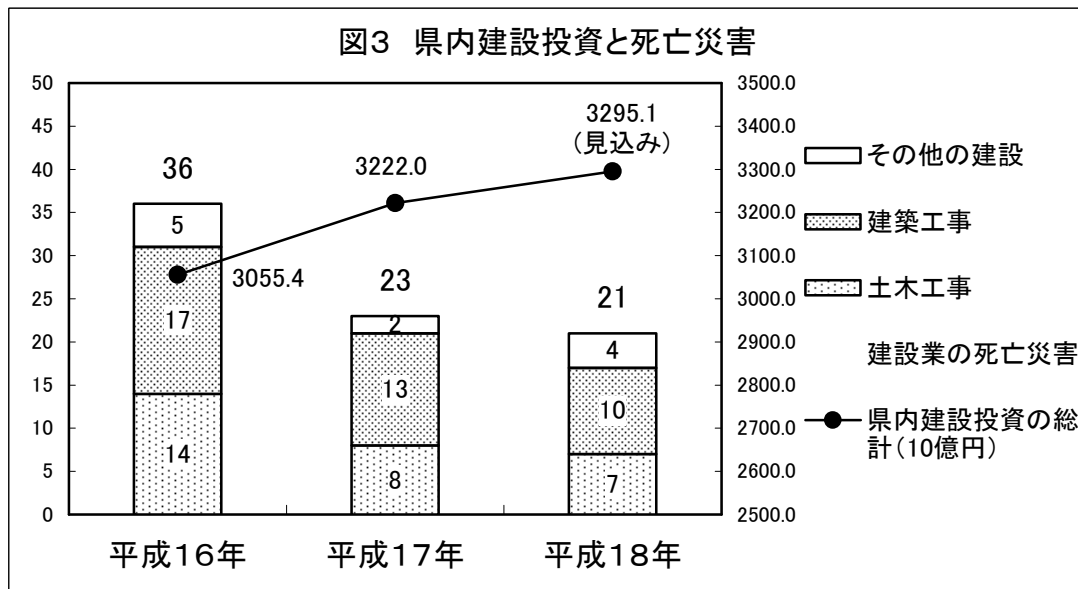
神奈川県労働局では、建設業や製造業における業種別対策及び機械設備や交通事故等による労働災害防止対策などの各種対策を推進した。

また、建設業において昨年6月以降に死傷災害及び重大災害（一時に3人以上の労働者が業務上死傷又は病した災害事故）が増加したことから、建設業界に対して労働災害防止対策の徹底を10月11日に緊急要請したほか、各事業者に対して労働災害の増加に対応した労働災害防止対策の徹底について関係業界団体を通じて12月13日に要請を行った。

この結果、県内建設投資額（\*3）は、平成16年から2年連続して増加が見込まれているところであるが、建設業の労働災害は2年連続して減少している。

全体として死傷災害は増加傾向にあるが、死亡災害をはじめとする重篤な災害は、徐々にではあるが減少しつつある。

今後、昨年改正された労働安全衛生法第28条の2に基づいて、「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」（リスクアセスメント指針）に定める基本的考え方及び実施事項の周知啓発を図り、関係業界団体及び発注者等を通じて、各事業場においてリスクアセスメントが適切に実施されるよう指導していくほか、特に、増加傾向にある第三次産業において転倒災害をはじめとする行動災害の防止を徹底することとしている。



\*1 本統計による第三次産業の内容は、商業、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、保健衛生業、接客娯楽、清掃・と畜、官公署及びその他の事業である。

\*2 神奈川県労働局管内の各労働基準監督署に提出された労働者死傷病報告による。

\*3 株式会社浜銀総合研究所「かながわ経済情報」2007年2月号による。

# 平成18年における神奈川県内の労働災害発生状況（確定）

神奈川県労働局労働基準部安全課

平成18年における死傷災害の発生状況（死亡災害及び休業4日以上之死傷災害）

（確定）

業種	平成18年（1月～12月）		平成17年（1月～12月）		対17年比較	
	死傷者数(人)	構成比 (%)	死傷者数(人)	構成比 (%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	7,338	100.0	7,191	100.0	147	2.0
製造業	1,494	20.4	1,523	21.2	-29	-1.9
建設業	1,295	17.6	1,220	17.0	75	6.1
交通運輸業	304	4.1	275	3.8	29	10.5
陸上貨物 運送事業	812	11.1	829	11.5	-17	-2.1
港湾荷役業	61	0.8	64	0.9	-3	-4.7
商業	1,053	14.3	1,094	15.2	-41	-3.7
清掃・と畜業	478	6.5	445	6.2	33	7.4
その他	1,841	25.1	1,741	24.2	100	5.7

- (注) 1 労働者死傷病報告より作成したもの。  
2 「-」は減少を示す。

平成18年における死亡災害の発生状況

(確定)

業種	平成18年（1月～12月）		平成17年（1月～12月）		対17年比較	
	死傷者数(人)	構成比 (%)	死傷者数(人)	構成比 (%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	63	100.0	70	100.0	-7	-10.0
製造業	8	12.7	11	15.7	-3	-27.3
建設業	21	33.3	23	32.9	-2	-8.7
交通運輸業	4	6.3	0	0.0	4	***
陸上貨物運送事業	10	15.9	11	15.7	-1	-9.1
港湾荷役業	3	4.8	4	5.7	-1	-25.0
商業	3	4.8	8	11.4	-5	-62.5
清掃・と畜業	5	7.9	6	8.6	-1	-16.7
その他	9	14.3	7	10.0	2	28.6

- (注) 1 労働者死傷病報告より作成したもの。  
 2 「-」は減少を示す。

平成18年における死亡災害の発生状況

(確定)

業種	平成18年(1月～12月)		平成17年(確定値)		平成16年(確定値)		対17年確定値比較		対16年確定値比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	63	100.0	70	100.0	70	100.0	-7	-10.0	0	0.0
製造業	8	12.7	11	15.7	5	7.1	-3	-27.3	6	120.0
建設業	21	33.3	23	32.9	36	51.4	-2	-8.7	-13	-36.1
交通運輸業	4	6.3	0	0.0	2	2.9	4	***	-2	-100.0
陸上貨物運送事業	10	15.9	11	15.7	11	15.7	-1	-9.1	0	0.0
港湾荷役業	3	4.8	4	5.7	2	2.9	-1	-25.0	2	100.0
商業	3	4.8	8	11.4	5	7.1	-5	-62.5	3	60.0
清掃・と畜業	5	7.9	6	8.6	2	2.9	-1	-16.7	4	200.0
その他	9	14.3	7	10.0	7	10.0	2	28.6	0	0.0

- (注) 1 死亡災害報告より作成したもの  
 2 「-」は減少を示す。  
 3 「その他の業種」については別掲。

業種、事故の型別死傷災害発生状況（平成18年）

（確定）

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	1325	1329	333	548	175	354	883	571	8		156	43	10	5	2	3	635	11	820	110	17	7338
製造業	165	219	56	148	51	70	414	135	3		38	14	2		1		27	3	140	7	1	1494
建設業	446	121	67	143	40	80	132	100	1		15	20	3			1	43		73	10		1295
交通運輸業	24	45	19	6		4	10	3	1			1					139	2	26	19	5	304
陸上貨物 運送事業	196	117	58	83	28	58	96	15			1						46	1	106	4	3	812
港湾荷役業	19	9	2	7	2	8	9	1									1		2	1		61
商業	148	242	40	62	25	51	79	115			30	2	1	1			125	3	116	12	1	1053
清掃・と畜 業	107	143	26	25	6	17	47	39	2		4	2	3	1	1		5		47	2	1	478
その他	220	433	65	74	23	66	96	163	1		68	4	1	3		2	249	2	310	55	6	1841



業種、事故の型別死傷災害発生状況（平成17年）

（確定）

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	1316	1302	348	503	153	256	859	657	11	5	128	29	9	5	1	3	634	3	807	136	26	7191
製造業	177	210	69	133	39	48	418	188	1	2	40	12	2	1	1	1	12		158	10	1	1523
建設業	446	114	51	157	42	42	119	129	6	1	7	1	3	2			40		54	5	1	1220
交通運輸業	12	46	9	2		9	9	4			1						140		24	15	4	275
陸上貨物運送事業	232	122	65	46	28	41	96	10	3		2	2					74		101	4	3	829
港湾荷役業	18	5	8	4	2	6	8	2		2							1	1	6		1	64
商業	145	250	53	62	19	35	78	132	1		29	6					136	1	133	11	3	1094
清掃・と畜業	96	112	31	29	6	17	51	23			1	5	1				15	1	50	6	1	445
その他	190	443	62	70	17	58	80	169			48	3	3	2		2	216		281	85	12	1741

業種、事故の型別死傷災害発生状況（平成17年対前年比）

(確定)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	9	27	-15	45	22	98	24	-86	-3	-5	28	14	1		1		1	8	13	-26	-9	147
製造業	-12	9	-13	15	12	22	-4	-53	2	-2	-2	2		-1		-1	15	3	-18	-3		-29
建設業		7	16	-14	-2	38	13	-29	-5	-1	8	19		-2		1	3		19	5	-1	75
交通運輸業	12	-1	10	4		-5	1	-1	1		-1	1					-1	2	2	4	1	29
陸上貨物運送事業	-36	-5	-7	37		17		5	-3		-1	-2					-28	1	5			-17
港湾荷役業	1	4	-6	3		2	1	-1		-2								-1	-4	1	-1	-3
商業	3	-8	-13		6	16	1	-17	-1		1	-4	1	1			-11	2	-17	1	-2	-41
清掃・と畜業	11	31	-5	-4			-4	16	2		3	-3	2	1	1		-10	-1	-3	-4		33
その他	30	-10	3	4	6	8	16	-6	1		20	1	-2	1			33	2	29	-30	-6	100

業種、事故の型別死亡災害発生状況（平成18年）

(確定)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	17	1	2	7	5	7	3					1	2			1	13	2		2		63
製造業	1			2		1	2										2					8
建設業	8			2	3	2	1					1	1			1	1			1		21
交通運輸業																	2	2				4
陸上貨物運送事業	1		2	1	1	2											3					10
港湾荷役業	1			1		1																3
商業		1			1												1					3
清掃・と畜業	2			1									1				1					5
その他	4					1											3			1		9

業種、事故の型別死亡災害発生状況（平成17年）

(確定)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	21	1	1	1	3	1	8	3		5	1		1				18			4	2	70
製造業	1		1			1	2	1		2							1			2		11
建設業	12			1	2		1	2		1			1				3					23
交通運輸業																						
陸上貨物運送事業	1				1		2										7					11
港湾荷役業	1									2											1	4
商業		1					1				1						5					8
清掃・と畜業	2						2										1				1	6
その他	4																1			2		7

業種、事故の型別死亡災害発生状況（平成17年対前年比）

(確定)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	-4		1	6	2	6	-5	-3		-5	-1	1	1			1	-5	2		-2	-2	-7
製造業			-1	2				-1		-2							1			-2		-3
建設業	-4			1	1	2		-2		-1		1				1	-2			1		-2
交通運輸業																	2	2				4
陸上貨物運送事業			2	1		2	-2										-4					-1
港湾荷役業				1		1				-2											-1	-1
商業					1		-1				-1						-4					-5
清掃・と畜業				1			-2						1								-1	-1
その他						1											2			-1		2

平成18年 署別・業種別労働災害発生状況（確定）

（労働者死傷病報告による）

神奈川県労働局

平成19年3月末

署	年	製造業	建設業	交通運輸業	陸上貨物 運送業	港湾荷役業	商業	清掃・ と畜業	その他	合計	前年比
横浜南	本年	123 (0)	134 (3)	41 (1)	89 (3)	48 (3)	127 (1)	84 (0)	219 (1)	865 (12)	3.7%
	前年	141 (1)	119 (4)	34 (0)	81 (1)	41 (3)	124 (1)	70 (0)	224 (0)	834 (10)	
鶴見	本年	73 (2)	51 (1)	6 (0)	54 (0)	3 (0)	37 (0)	34 (0)	42 (1)	300 (4)	3.8%
	前年	62 (0)	32 (2)	8 (0)	69 (0)	4 (0)	35 (0)	32 (1)	47 (1)	289 (4)	
川崎南	本年	115 (3)	99 (2)	29 (0)	107 (1)	4 (0)	63 (0)	26 (1)	76 (1)	519 (8)	4.6%
	前年	111 (1)	70 (0)	16 (0)	106 (1)	15 (0)	53 (0)	32 (1)	93 (0)	496 (3)	
川崎北	本年	70 (0)	105 (3)	12 (0)	49 (1)	0 (0)	72 (0)	24 (0)	155 (1)	487 (5)	19.7%
	前年	63 (0)	116 (2)	13 (0)	38 (1)	0 (0)	66 (0)	19 (0)	92 (1)	407 (4)	
横須賀	本年	70 (0)	97 (1)	19 (0)	21 (0)	1 (0)	63 (0)	27 (1)	143 (0)	441 (2)	0.7%
	前年	89 (1)	95 (0)	16 (0)	27 (0)	3 (0)	57 (2)	17 (0)	134 (1)	438 (4)	
横浜北	本年	143 (0)	195 (2)	52 (3)	83 (1)	4 (0)	169 (0)	77 (0)	266 (2)	989 (8)	5.0%
	前年	147 (0)	149 (3)	33 (0)	103 (0)	1 (1)	178 (1)	79 (2)	252 (2)	942 (9)	
平塚	本年	127 (0)	96 (3)	15 (0)	53 (0)	0 (0)	76 (0)	21 (0)	131 (1)	519 (4)	-6.3%
	前年	165 (1)	80 (1)	31 (0)	65 (2)	0 (0)	74 (0)	14 (1)	125 (0)	554 (5)	
藤沢	本年	124 (1)	112 (1)	27 (0)	38 (0)	0 (0)	87 (0)	25 (0)	139 (0)	552 (2)	-6.8%
	前年	143 (2)	135 (0)	20 (0)	41 (2)	0 (0)	112 (1)	15 (0)	126 (0)	592 (5)	
小田原	本年	69 (0)	56 (1)	14 (0)	28 (0)	0 (0)	36 (0)	31 (0)	118 (0)	352 (1)	1.7%
	前年	53 (0)	75 (2)	6 (0)	30 (1)	0 (0)	41 (0)	35 (0)	106 (0)	346 (3)	
厚木	本年	303 (2)	126 (2)	44 (0)	154 (4)	0 (0)	119 (0)	35 (2)	215 (0)	996 (10)	3.0%
	前年	291 (2)	122 (2)	41 (0)	148 (1)	0 (0)	141 (2)	36 (1)	188 (1)	967 (9)	
相模原	本年	172 (0)	97 (1)	18 (0)	81 (0)	0 (0)	86 (2)	43 (1)	132 (1)	629 (5)	-5.7%
	前年	176 (1)	95 (4)	28 (0)	67 (1)	0 (0)	87 (0)	35 (0)	179 (1)	667 (7)	
横浜西	本年	105 (0)	127 (1)	27 (0)	55 (0)	1 (0)	118 (0)	51 (0)	205 (1)	689 (2)	4.6%
	前年	82 (2)	132 (3)	29 (0)	54 (1)	0 (0)	126 (1)	61 (0)	175 (0)	659 (7)	
合計		1,494 (8)	1,295 (21)	304 (4)	812 (10)	61 (3)	1,053 (3)	478 (5)	1,841 (9)	7,338 (63)	2.0%
前年同期		1,523 (11)	1,220 (23)	275 (0)	829 (11)	64 (4)	1,094 (8)	445 (6)	1,741 (7)	7,191 (70)	
増減率		-1.9%	6.1%	10.5%	-2.1%	-4.7%	-3.7%	7.4%	5.7%	2.0%	

注) 休業4日以上死傷者数、( )内は、死亡者数で内数。

交通運輸業は、鉄道等、道路旅客、その他の交通運輸。

陸上貨物運送業は、道路貨物運送、陸上貨物取扱。

# 平成18年重大災害一覧

平成19年4月30日確定

神奈川県労働局

番号※	署	発生年月日	業種	起因物	発生概要
		曜日	負傷者数、負傷程度	事故の型	
		発生時刻			
1	川崎北	1月27日	一般飲食店	引火性のガス	出張調理に使用するプロパンガスボンベ(8kg)のガスを出るため、出発前に厨房内で熱湯が入った鍋の中にボンベを入れて加熱していたところ、当該ガスボンベの保護機能が働いてガスが噴出し、漏れたガスに引火して、厨房内で作業していた2名を含む労働者3名が顔面等に熱傷を負ったもの。
		(金)	調理師2名、調理補助1名 (休業1名、不不休2名)	火災	
		14時30分			
2	鶴見	3月28日	建築工事業	乗用車、バス、バイク	ライトバンに乗って工事現場に向う途中、交差点を青信号で通過しようとしたところ、進行方向左側から交差点内に進入したタクシーがライトバンの左後方側面に激突し、同乗していた作業員7名のうち6名が負傷したもの。
		(火)	作業員6名 (休業4名、不不休2名)	交通事故(道路)	
		5時45分			
3	相模原	4月25日	建築工事業	乗用車、バス、バイク	被災者ら3名が自動車で工事現場に向かう途中、県道を走行していたところ、路地から右折して出てきたトラックに衝突したもの。
		(火)	作業員3名 (休業3名)	交通事故(道路)	
		6時20分			
4	横浜北	6月8日	建築工事業	有害物	3階建幼稚園新築工事現場において、1階外壁の石模様タイルに撥水剤をスプレーガンで吹き付けていたところ、ミスト状となった撥水剤が拡散し、現場内の作業員が咳、胸苦しさ等の症状を訴え病院で診察を受けたもの。 急性肺障害(第4号の8)
		(木)	作業員21名	有害物等との接触	
		10時00分			
5	横浜南	6月16日	保健衛生業	その他の起因物	従業員が入館待ちをしている客の中に、以前に無銭飲食したと思われる客を見つけ、同人を警察に引き渡そうとしたところ、客とその仲間が暴行したため、従業員8名が負傷したもの。
		(金)	従業員8名 (休業8名)	その他	
		9時45分			
6	横浜北	6月16日	建築工事業	乗用車、バス、バイク	支店から自動車で建設現場へ向かう途中、高速道路上で雨のため車がスリップして中央帯に激突し、同乗していた作業員6名が負傷したもの。
		(金)	作業員6名 (休業6名)	交通事故(道路)	
		8時00分			
7	横浜北	7月8日	医療保健業(病院)	その他の起因物	前日、職員食堂で昼食を摂った職員等約100名のうち37名が翌日夜から下痢、嘔吐等を訴え受診したところ、ノロウイルスによる食中毒と判定されたもの。 食中毒(第6号の5)
		(土)	職員等37名	その他	
		21時00分			
8	横浜北	7月17日	建築工事業	有害物	ビル建築工事現場のテナント店舗の天井、壁等の塗装工事において、有機溶剤系の塗料を下地として吹き付けていたところ、当該塗装作業に従事していた作業員4名全員がシンナー中毒にかかり意識もうろうとなり、そのうち1名が作業台車から転落し肋骨骨折を負ったもの。 有機溶剤中毒(第4号の1)
		(月)	塗装工4名	有害物等との接触	
		15時00分			
9	横須賀	8月1日	接客娯楽業	有害物	マンホール内で海水を取り入れる送水管の切り替え作業を2名で行っていたところ、取り外したバルブ部分から腐敗した付着物とともに海水がマンホール内に流れ出し、硫化水素中毒に被災したもの。救出のためマンホール内に入った3名も体調不良を訴えた。 硫化水素中毒(第4号の1)
		(火)	設備係等5名	有害物等との接触	
		6時40分			
10	川崎南	8月12日	建築工事業	トラック	発電所建設工事の現場事務所建替作業のため、自動車を運転して現場に向かって走行中、対向車線からはみ出した飲酒運転のタンクローリーと正面衝突したもの。
		(土)	作業員6名 (死亡1名、休業3名)	交通事故(道路)	
		7時00分			
11	川崎南	8月17日	その他の建設業	有害物	化学工場の設備の定期改修工事において、基材油により置換した配管に閉止板を挿入する作業を行ったところ、当該配管に含まれていた酸化防止剤により指先、手の甲、ひざ、足の甲等に化学熱傷を負ったもの。 化学熱傷(第4号の8)
		(木)	仕上工6名	有害物等との接触	
		16時30分			

(注) 負傷者数等の「その他」は、事業主等労働者以外の者、労働者かどうか判明していない者、又は、業務外の者である。

# 平成18年重大災害一覧

平成19年4月30日確定

神奈川県労働局

番号※	署	発生年月日	業種	起因物	発生概要
		曜日	負傷者数、負傷程度	事故の型	
		発生時刻			
12	川崎南	8月23日	その他の建設業	有害物	前記化学工場の設備の定期改修工事において、水洗を行っていない次工程の配管に閉止板を挿入する作業を行ったところ、当該配管に残っていた添加剤により腕、ひざ上に薬傷を負ったもの。 薬傷(第4号の8)
		(水)	配管工3名		
		10時20分		有害物等との接触	
13	平塚	9月8日	農業	トラック	除草作業において、坂道(斜度12度)に刈った草を片付けるため塵芥車を止めたところ、無人の塵芥車が逸走してトラックに衝突し、横転したトラックの下敷きとなり作業員1名が死亡、付近にいた作業員2名が負傷したものの。
		(金)	作業員3名 (死亡1名、不休2名)	激突され	
		14時00分			
14	厚木	9月20日	教育・研究業 ほか	乗用車、バス、バイク	研究施設から鉄道駅に向かう会社専用バスに乗車中、子供が飛び出したため、バスの運転手が急ブレーキをかけた際、つり革をつかんでいた右手を捻り、バス内で転倒する等により乗客4名が被災したものの。
		(水)	事務3名 技術者1名 (休業0名、不休4名)	交通事故	
		19時05分			
15	横浜南	10月2日	その他の建設業	乗用車、バス、バイク	高速道路トンネル内の設備点検作業終了後、規制予告看板を撤去する作業中、トレーラーが作業中の標識車両に追突したため、停車中のトラックと高所作業車が玉突き衝突となり、作業員3名がガードレールとトラックの間にはさまれたもの。
		(月)	作業員3名(休業3名)		
		4時02分		交通事故	
16	横浜西	10月11日	土木工事業	乗用車、バス、バイク	夜間工事を行っている下水道工事現場に一般車両が進入し、現場作業員4名と、飛び込んだ車両の運転者及び同乗者が負傷したものの。
		(水)	作業員3名(休業3名) その他1名(休業1名)		
		22時15分		交通事故	
17	川崎北	10月25日	建築工事業	乗用車、バス、バイク	工事現場の作業終了後、作業員5名がワゴン車に乗って帰社する途中、左側車線を走行していた軽トラックが急停車して後続のトラックが右に急ハンドルを切ったため、右側車線を走行するワゴン車の左後部に追突したものの。
		(水)	作業員4名(休業4名)		
		17時30分		交通事故	
18	相模原	10月25日	医療保健業(病院)	その他の起因物	入院した疥癬患者から感染したものの。 疥癬(第6号の1)
		(水)	医師、看護師等20名	その他	
		20時30分			
19	藤沢	11月2日	警備業	危険物・有害物	道路工事現場内において、保安施設の設置に使用する規制車両の荷台上で、警備員が照明用の発電機にガソリンを給油中、ガソリンに引火して警備員2名が火傷を負い、1名が消火剤により負傷したものの。
		(木)	作業員3名 (休業2名、不休1名)		
		20時30分		火災	
20	横浜西	11月9日	社会福祉施設	その他の起因物	ノロウイルスに感染した施設利用者との接触やその嘔吐物等の処理を介して介護師が感染したものの。 食中毒(第6号の5)
		(木)	介護士4名		
		20時30分		その他	
21	藤沢	11月12日	電気機械器具製造業	その他の起因物	37名の休日労働者に対し、昼食として出した仕出し弁当が原因で労働者31名がノロウイルスに感染し、嘔吐、下痢の症状を訴えた。 食中毒(第6号の5)
		(日)	作業員31名		
		20時30分		その他	
22	藤沢	11月28日	社会福祉施設	その他の起因物	11月28日と29日に事業場の給食施設において調理したものを食べた調理スタッフ、介護士等33名がノロウイルスに感染し、嘔吐、下痢の症状を訴えた。 その他に、入居者、施設利用者等配食サービスを受けた64名にも同様の症状が出た。 食中毒(第6号の5)
		(火)	調理員等33名		
		20時30分		その他	

(注) 負傷者数等の「その他」は、事業主等労働者以外の者、労働者かどうか判明していない者、又は、業務外の者である。